



バレーボールの魅力を伝授 ヴィクトリーナ姫路が中学生に部活指導

善防中学校と加西中学校でバレーボール部員を対象に、プロバレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」から、現役選手を招いての技術指導が行われました。指導を受けた生徒からは、ネット際のボールの処理やスパイク時のタイミングなど技術的なことから、緊張したときの対処方法などメンタル的なことまで多くの質問が出ました。生徒の1人は「金田選手からタイミングの取り方を教わった。試合で生かしたい」と目を輝かせました。



迫力！ふるさと納税返礼品をデザイン ラッピングトラックで加西をPR

平田運輸(株)様が、ふるさと納税をPRするため、返礼品をデザインしたラッピングトラックを導入されました。ラッピングにかかる費用は平田運輸(株)様が負担し、人気のトースターや家具がデザインされています。「加西市をもっと元気にしたい」という事業趣旨に賛同された市場(株)様、(株)千石様と連携した取り組みとなっています。



左から、市場代表取締役、平田専務、西村市長、千石専務

高齢者夫婦の笑顔、写真に収める 63年 仲むつまじく撮影会

加西市社会福祉協議会の敬老福祉月間の記念行事として、高齢者夫婦記念撮影が、STUDIO 栄光社の協力のもと実施されました。昭和34年から数え年合計が159歳または160歳のご夫婦をボランティアで撮影してこられ、その数は2820組となりました。撮影された宮本博文さんは「人生100年時代。長寿は喜ばしいことです。これからも撮影を続けていけたら」と笑顔で話されました。



撮影する宮本さんと岡敬博、臣子夫妻

平和への思い 被爆アオギリ 3世 大きく

5年前に鵜野飛行場跡地に植樹した被爆アオギリ3世の苗がこんなに大きくなりました。これは大橋義一さん(田原町)が、広島市の被爆アオギリの苗を譲り受け、育てられたものです。この日、76回目の「原爆の日」を迎え、大橋さんがアオギリに会いにいくと、約5年に1回しか付けない種子を発見しました。命をつなぎ、たくましく成長する木は、同時に非核、平和の訴えをもつないでくれています。



ほな、始めよか～ 賀茂小児童 播州弁ラジオ体操を体験

ラジオ体操考案者のひとり大谷武一さんの母校賀茂小学校で、播州弁にアレンジされたラジオ体操の披露と講演会が開催されました。講演会では山下光昭・元賀茂地区ふるさと創造会議会長が武一さんの経歴などを紹介。その後、全児童92人が播州弁ラジオ体操を体験。参加者の荒木陽風さんは「ラジオ体操を作ったひとが、賀茂小出身と知って親しみが持てました」と話してくれました。



自由な創造力を学ぶ！ 「小学生のためのロボット教室」を開催

加西市・兵庫教育大学連携講座として森山 潤教授をお招きし、小学5・6年生を対象としたロボット教室を開催しました。参加した児童らはロボットの動作のしくみについて学んだ後、実際にロボットを組み上げ、タブレット端末でプログラムを作成して動かしました。「初めて参加したけどわかりやすく楽しかった」、「思ったとおりにロボットが動いて嬉しかった」等の感想があり、充実した講座となりました。



北条小歴史ガイド隊 プレデビュー 拝観者へおもてなし

7月11日、北条小学校の5、6年生8名が「歴史ガイド隊17期生」としてプレデビューしました。同隊は平成17年に発足し、加西市歴史街道ボランティアガイドの指導のもと、地域の魅力発信や来訪者との交流を通じて豊かな心やおもてなしの心を育てています。この日は、保護者を前に4班に分かれて五百羅漢を案内し、クイズを交えながら石仏のガイドをしました。「緊張したけど楽しかった」との声が聞かれ、今後は一般の観光客に対してガイドを行います。



命について学習 世界に一つのオリジナル太鼓完成！

7月25日、善防公民館で小学生を対象に牛の革を使った太鼓作り教室が開催されました。41組が参加し、いい音が出るように力を合わせ、革を張りながらオリジナルの太鼓を作りました。参加者のひとり「打ち込むのが大変だったけど楽しかった」と話していました。講師の「十八代目太鼓屋六右衛門」杉本大士さんからは、太鼓作りを通して、命の尊さや「ありがとう」という言葉の大切さなどを教えていただきました。

